



## ◆平成28年度当初予算可決・ポイントチェック◆

一般会計の規模は、2月補正を合わせて7,461億5,054万4千円で、対前年度比約77億5千万円増（1.1%増）となっています。義務的経費（人件費、社会保障関係費、公債費）は、前年度比2.3%増の4,415億4,343万円で予算全体の59.9%を占めています。非常に硬直化した極めて厳しい予算編成を毎年行っています。

予算委員会総括質疑で知事と県財政について議論しましたが、異例の措置として企業会計から55億円借り入れて編成した平成28年度予算は極めて厳しい県財政の状況を物語っています。私がこれまで取り組んできた主なものや新規事業を中心に平成28年度の取組のポイントを報告いたします。

**ポイント1** 東日本大震災から5年が経ちましたが、決して忘れることなく南海トラフ地震、内陸活断層地震・津波対策や台風、局地的豪雨などの風水害対策に力を入れています。関係予算総額は40億6千7百万円です。

### ■北勢広域防災拠点整備事業（8億8千5百万円）

四日市市中村町（東名阪四日市東IC周辺）に広域防災拠点を整備、北勢地域の輸送、物資保管、集配、活動等の拠点とし、県外部隊や救援物資等の県外への受入れ拠点とする。平成29年度末完成予定。

### ■防災ヘリコプター更新事業（29億5千9百万円）

運行から22年が経過し機体が老朽化した防災ヘリコプター「みえ」を新規更新し、機能強化のためヘリコプター電送システムを整備する。

**ポイント2** 三重県でも少子化が極めて深刻な事態のため「みえ子どもスマイルプラン」を推進し、ライフステージごとに切れ目ない対策を行います。関連予算総額は95億1千9百万円です。また格差の広がりを是正するため特に子どもの貧困対策に力を入れます。

### ■子どもの貧困対策事業（1億6千万円）

ひとり親家庭の親に対して高等職業訓練促進給付金の支給や入学準備金、就職準備金の貸付を行うなど。

### ■出逢いの支援事業（2千5百万円）

「みえ出逢いサポートセンター」における情報提供などを行い、社会全体で結婚を応援する機運を醸成する。

**ポイント3** 団塊の世代が75歳以上となる平成37年以降は、医療・介護の需要が急増します。住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括支援システム構築に力を入れます。関連予算総額は42億6千3百万円です。

### ■在宅医療推進事業（9千万円）

地域での在宅医療提供体制整備のため人材育成支援を行い充実をはかる。

**ポイント4** 新たな産業の創出として航空宇宙産業に力を入れます。また、ポストサミットの取組としてMICE誘致や日本版DMOの取組など三重県の質・魅力を高めます。

### ■航空宇宙産業の振興事業（1億1千万円）

生産技術者の育成や留学支援などの人材育成、認証取得支援、新規参入促進、試作開発支援を行う。難削材・難形状・高精度の加工技術等の習得を目指す研究会を創設し技術開発力の強化をはかる。海外ネットワークの活用、深化をはかる。

### ■海外MICE誘致推進事業（4千6百万円）

世界最高峰のMICE（国際会議、学会、展示会、見本市、イベントなどのこと）開催地として地位を確立させ、海外MICE誘致に取組む。世界的に有名な経済界のリーダーが参加する国際会議を誘致する。

### ■全国菓子大博覧会・三重開催支援事業（3千8百万円）

平成29年「第27回全国菓子大博覧会・三重（お伊勢さん菓子博2017）」の開催に向けて実行委員会の取組を支援する。

### ■観光の産業化と海外誘客の促進事業（1億7千4百万円）

「みえ旅パスポート」に次ぐ「食」をテーマとした新たなパスポート事業の展開を行う。「日本版DMO」の取組をすすめる。外国人旅行者の誘致をはかるため富裕層、欧米市場、ゴルフツーリズムなど新たな分野の取組をすすめる。

**ポイント5** 遅れている北勢地域の河川整備や道路整備に力を入れます。新名神、北勢バイパス、霞4号線、国道477号四日市湯の山道路といった主な幹線が平成30年にはネットワークを構築できるよう取組みます。

### ■河川改修事業（30億8千3百万円）

洪水被害を軽減するため、川幅を広げるための堤防整備や治水上支障となっている橋梁等の改築を進める。三滝川、朝明川の課題箇所対応を進める。また別途、河川堆積土砂撤去（6億5千5百万円）を継続して効果的に行う。

### ■高規格幹線道路および直轄国道整備促進事業（113億1千6百万円）

新名神・東海環状自動車道・北勢バイパス・中勢バイパス・伊勢大橋掛替・熊野尾鷲道路などの道路整備を進める。平成28年度供用予定は、新名神高速道路（四日市JCT～新四日市JCT）、東海環状自動車道（新四日市JCT～東員IC）

### ■県管理道路の整備推進事業（122億8千6百万円）

国道477号四日市湯の山道路など、県管理道路の整備を推進する。

**ポイント6** 学力の向上と人材育成に力を入れます。学力向上の関連予算総額は16億6千4百万円です。

### ■専攻科設置準備事業（7千4百万円）

県立四日市工業高校に専攻科を平成30年開校するため準備を行う。電気コースと機械コースを設置の予定で、設置にかかる費用は約7億1千万円の見込み。

### ■学力向上支援事業（4千3百万円）

各学校の授業改善を促進し、学力向上をはかる。「わかる授業」のため組織的、継続的な取組を行う。

**ポイント7** 5月26日、27日開催の伊勢志摩サミット成功に全力を尽くします。27年度分を含め総額で93億3千万円（内約40億円は国費）の大きな予算となります。県政史上大きな転機となるチャンスを活かします。

### ■テロ等対策事業（10億8千5百万円）

伊勢志摩サミットでの各国首脳等の身辺安全確保、関連行事の円滑な進行確保、安全・安心な県民生活の確保に万全を期するため警備諸対策を行う。またテロを未然に防止するため官民一体の日本型テロ対策を推進する。

**ポイント8** その他、これまで取り組んできた不法投棄事案への対応、三重国体に向けた取組、伊勢湾の再生など長期課題についても力を入れていきます。

### ■廃棄物総合対策環境修復事業（32億2千1百万円）

生活環境保全上の支障がある大矢知・平津事案（平成24年～平成34年）、内山事案（平成18年～平成31年）など4つの産業廃棄物不適正処理事案について行政代執行により引き続き恒久対策をすすめる。

### ■スポーツの推進事業（48億1千万円）

平成33年「三重とこわか国体」開催に向けて準備を進める。東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ日本開催に向けての事前キャンプ地誘致の実現に向けて取組む。

### ■伊勢湾あさり復活プロジェクト推進事業（1億3千8百万円）

伊勢湾のあさり漁業の生産力向上のため干潟の造成を推進する。

稲垣昭義  
活動ショット！



平成28年1月18日  
聴覚障がい者団体から  
要望受取



平成28年1月20日  
近鉄四日市駅前街頭演説



平成28年1月21日  
手話言語に関する条例検討会  
で神奈川県議会調査



平成28年1月23日  
御在所登山



平成28年2月7日  
慈善橋市場オープン



平成28年2月28日  
県政座談会開催



平成28年3月7日  
予算決算常任委員会  
総括質疑登壇



平成28年3月22日  
ひとり親子ども医療費  
窓口無料を知事に提案